

① コーヒー好きのマルゴさん

メルボルンから一人旅で来ました。熊野古道のハイキングを終えたばかりで足はくたくたですが、最高に気持ちいいです！ 5週間の旅の間、大好きな温泉とコーヒーに毎日癒されています。美味しいコーヒーの噂を聞くと、どんなに遠くても足を運んでしまうんです。

日本で一番驚いたのはトイレの「音姫」ですね。温泉では皆さん全裸で平気なのに、トイレの音は隠したいなんて、日本人って本当に不思議で面白い文化だなと思います。でもそういうところが日本の奥深さなんでしょうね。



国・地域：オーストラリア | 人数：1名（一人旅） | 滞在：約5週間

② 太平洋の大きさに感動！

バーレーンからハネムーンで日本に来ました。レンタカーを借りて3週間、夫婦二人で日本各地を自由気ままに旅しています。和歌山で一番感動したのは、ドライブ中にずっと横に広がる太平洋の景色です。バーレーンにも海はありますが、対岸にサウジアラビアが見えるくらいの海なので、太平洋のスケールはまったく別次元です。

地平線の向こうまで果てしなく続く青い海を眺めていると、自分がどれだけちっぽけな存在か思い知らされます。橋杭岩も本当に神秘的でした。この景色は一生忘れません。最高のハネムーンです。



国・地域：バーレーン | 人数：2名（夫婦） | 滞在：約3週間

③ 和歌山県に血縁のルーツ

私の曾祖父は100年以上前に和歌山県からアメリカへ渡りました。「いつか先祖の故郷を訪ねたい」という気持ちがずっと心の中にあって、今回ついに実現したんです。市の記録を辿って遠い親戚を探し出し、実際にお会いすることができました。

初めて会ったはずなのに、どこか懐かしくて温かい気持ちが込み上げてきて、言葉にならないくらい胸がいっぱいになりました。アメリカで生まれ育った自分が、和歌山の地に立って故郷を感じている。先祖がこの土地を選んだ理由が少しわかった気がします。



国・地域：アメリカ | 人数：2名 | 滞在：約2週間

④ サンティアゴ巡礼と熊野古道の絆

3年前にスペインのサンティアゴ・デ・コンポステーラへの巡礼を歩き切りました。その後、熊野古道がサンティアゴの「姉妹巡礼路」だと知り、絶対に来ようと決めていたんです。そしてついに、両方を踏破した人だけが受け取れる「デュアル踏破証明書」を手に入れました！

この証明書を見るたびに、あの長い道のりを一歩ずつ歩いた達成感がよみがえります。和歌山とスペインは地理的にはとても遠いですが、巡礼という精神的なつながりですっかり結ばれていると感じました。世界中の巡礼者がこの絆を大切にしています。



国・地域：スペイン・フランスほか | 人数：複数名 | 滞在：約1～2週間

⑤ キャンピングカーで太平洋の朝日

イギリスからパートナーと二人で来ました。キャンピングカーを借りて2週間、紀伊半島をのんびり旅しています。昨日の朝が本当に特別でした。海沿いに車を停めて目が覚めたら、ちょうど太平洋から朝日が昇るところだったんです。あの美しさは言葉では表せません。キャンピングカーだからこそ出会えた、最高の瞬間でした。

一つ困っているのはゴミの処分ですね。日本では街中にゴミ箱が少なく、最初は戸惑いました。道の駅やコンビニを上手く活用する方法を地元の方に教えてもらってからは助かっています。旅行者向けのゴミ処分の案内がもう少し増えると嬉しいです。



国・地域：イギリス | 人数：2名（カップル） | 滞在：約2週間

⑥ フェリーで四国一周サイクリング！

オーストラリアから夫婦で3週間のサイクリング旅にきました。和歌山から南海フェリーで徳島に渡り、四国を自転車一周。そして再びフェリーで和歌山に戻ってきました。この航路はサイクリストにとって本当にありがたい存在です。山あり海あり、毎日が新しい発見の連続でした。

旅の途中で泊まったホテルのスタッフの皆さんが本当に親切で、自転車の扱いや荷物の預かりなど、細やかに気を配って下さいました。そういう丁寧なサービスが旅全体の満足度をぐっと高めてくれるんですよね。来年もまた絶対に来たいです。



国・地域：オーストラリア | 人数：2名（夫婦） | 滞在：約3週間

⑦ 旅行の情報収集も生成AIで！

サンフランシスコから3週間の日本旅行で来ています。旅のプランにはChatGPTをフル活用していて、熊野古道もAIに教えてもらったんです。でもこの旅で一番の思い出は、計画にまったくなかったこと。泊まったゲストハウスのご主人に誘われて、一緒にゲストハウス近くの小さな川で遊びました。

計画にないことが最高の体験になるなんて、旅って本当に面白いですよね。サンフランシスコでは自動運転タクシーが当たり前なんですが、日本は伝統文化とテクノロジーが共存していて本当に興味深い国です。



国・地域：アメリカ（SF） | 人数：2名（カップル） | 滞在：約3週間

⑧ 山中でのレスキューに感動

マレーシアから女性3人でサイクリング旅に来ました。山道を走っていたら日が暮れてしまい、寒さと暗さでどうしようかと途方に暮れていたんです。そのとき、通りがかった車の方が私たちの自転車ごと車に乗せて助けてくれました。言葉はほとんど通じなかったけれど、その優しさは十分すぎるほど伝わりました。

3人とも感動して泣いてしまいました。日本の人ってこんなにも見知らぬ人を助けてくれるんだって。一つお願いがあるとすれば、自転車を電車に持ち込める「輪行」ができる路線がもっと増えると、サイクリストの旅がさらに快適になると思います。



国・地域：マレーシア | 人数：3名（男性1名、女性2名） | 滞在：約2週間

⑨ 合気道の聖地、田辺へ

チリから4週間の日本旅行で来ました。私は長年合気道を修行していて、開祖・植芝盛平翁の故郷である田辺市をずっと訪ねたいと思っていたんです。ついにその夢が叶いました。翁が生まれ育った土地の空気を吸い、足跡を辿ることで、合気道への理解がさらに深まった気がします。

熊野古道のハイキングも合わせて楽しんでいます。大都市の喧騒から離れて、和歌山の自然と静けさの中で過ごす時間は格別です。旅の行程はChatGPTのおすすめも参考にしました。AIが伝統文化への旅を導いてくれるなんて、面白い時代ですよ。



国・地域：チリ | 人数：1名 | 滞在：約4週間

⑩ プロポーズは熊野古道で

オーストラリアから3週間の日本旅行で来ています。実は今日、熊野古道の道中で彼女にプロポーズしたんです。そして……無事にOKをもらえました！熊野の神聖な雰囲気の中でのプロポーズは、二人にとって一生忘れられない瞬間になりました。

和歌山は自然が本当に美しく、歩いているだけで心が洗われる場所です。一つだけお願いがあるとすれば、バスの本数をもう少し増やしてほしいということですね。でもそれ以外は文句なし。最高の思い出ができた和歌山に、いつか二人でまた戻ってきたいと思っています。



国・地域：オーストラリア | 人数：2名（カップル） | 滞在：約3週間

⑪ ボストンからハネムーン

ボストンからハネムーンで日本に来ました。和歌山を選んだのは、地元の友人が「絶対に行くべきだ」と強く勧めてくれたからです。実際に来てみて、友人の言葉は正しかったと実感しています。美しい海と温泉、そして美味しい食事。新婚旅行にぴったりの場所でした。

一つ困ったのは、夜の食堂が思ったより早く閉まってしまうことです。ディナーの後にもう一軒行きたいなと思っても、お店がもう閉まっている。新婚カップルがゆっくりくつろげる夜のお店がもっと増えたら、さらに素敵な滞在になると思います。



国・地域：アメリカ（ボストン） | 人数：2名（夫婦） | 滞在：約2週間

⑫ 一人で小辺路を踏破

オーストラリアから一人で来ました。小辺路を高野山から熊野本宮まで4日間かけて踏破しました。膝にサポーターを巻きながらの山歩きは決して楽ではありませんでしたが、達成感は格別です。今夜は湯の峰温泉で疲れた体をゆっくり癒して、明日からまた那智まで2日間歩く予定です。

和歌山の山と森の美しさは、歩いた人にしかわからない特別なものがあります。一つ要望があるとすれば、バス代をICカードで支払えるようにしてほしいということです。小銭の用意が大変で、特に海外から来た旅行者にとっては不便に感じる場面がありました。



国・地域：オーストラリア | 人数：1名（一人旅） | 滞在：約2週間

⑬ フォトグラファーの千畳敷

ドイツからレンタカーで撮影旅行に来ています。千畳敷で撮影しているところなんですが、ここの岩の造形と海の組み合わせは本当にフォトジェニックです。昨日は橋杭岩でも素晴らしい写真が撮れました。自然が作り出す風景のスケールが日本の他の場所とは全然違いますね。

和歌山を訪れるきっかけになったのは、那智の滝を紹介するYouTube動画でした。あの映像を見た瞬間、「ここに行かなければ」と思ったんです。カメラを持つ者にとって、和歌山は宝の山です。もっと多くのフォトグラファーにこの場所を知ってほしいですね。



国・地域：ドイツ | 人数：1名 | 滞在：約2週間

⑭ 周遊きっぷの改善を願って

ポーランドから3人で日本を旅しています。『伊勢・熊野・和歌山エリア周遊きっぷ』を使って和歌山を回っているんですが、とても便利なきっぷなのに、惜しい点がいくつかあるんです。龍神バスが対象外だったり、同じバス会社でも路線によって乗れたり乗れなかったり。

せっかく外国人旅行者のために作られたきっぷなのだから、もう少しカバー範囲を広げてもらえると、もっと多くの旅行者が和歌山の隅々まで楽しめると思います。それ以外は本当に素晴らしい旅です。熊野古道の自然と歴史に心から感動しています。



国・地域：ポーランド | 人数：3名 | 滞在：約2週間

⑮ 娘と熊野巡礼

メキシコから娘のクリスティーナと二人で熊野古道を歩きに来ました。もともとはアメリカに住んでいたのですが、メキシコに移住して異文化の中で暮らす刺激を楽しんでいます。和歌山を訪れたのは友人の強い勧めがきっかけです。「熊野古道は絶対に行くべきだ」と言われて、親子で来てみました。

実際に歩いてみると、友人の言葉は大げさではなかったと実感しています。森の静けさ、古い石畳の道、そして神社の荘厳な雰囲気。すべてが心に響く体験でした。娘と一緒にこの道を歩けたことが何よりの宝物です。



国・地域：メキシコ | 人数：2名（親子） | 滞在：約2週間

⑯ 四国と和歌山でクライミング三昧

サンフランシスコから6週間の長旅で来ています。和歌山から南海フェリーで徳島に渡って、四国でロッククライミングを思う存分楽しんでから、またフェリーで和歌山に戻ってきました。世界各地の岩壁に挑戦するのが趣味なんです、日本の岩質は独特で面白いですね。

和歌山で一つ残念だったのは、楽しみにしていた和歌山ラーメンのお店が夕方6時に売り切れで食べられなかったこと。かなりショックでした。次こそ絶対にリベンジします！次回は友ヶ島にも行ってみたいと思っています。



国・地域：アメリカ（SF） | 人数：1名 | 滞在：約6週間

⑰ とにかく端っこが好きなんです

本州最南端といわれる潮岬には、以前から一度来てみたいと思っていました。というのも、私は“端っこ”が大好きなんです。実は先日、本州最北端の大間崎にも行ってきて、次は山口県の端にも行ってみたいと思っています。端っこには、ほかにはない独特の魅力がありますよね。潮岬も、広大な芝生とその先に広がる海の景色が本当に圧巻で、『来てよかったな』と心から思いました。和歌山県の皆さんには、ぜひこの場所をもっとPRしてほしいです。私がこうした“端っこ”に惹かれるのは、日々の忙しさから少し解放されて、自分自身をゆっくり見つめ直すきっかけになると感じているからです。子どもが独立したことや、仕事を引退したこともあって、今は少し立ち止まって過ごす時間を大切にしたいと思うようになりました。ここでは、海を眺めながらただぼーっとする、その時間のありがたさや幸せをしみじみ噛みしめています。

地域：兵庫県 | 人数：2名（ご夫婦）60歳代 | 滞在：4泊旅行のうち和歌山県は2泊
場所：潮岬

⑱ 旧有田川町で採れる最高のぶどう山椒に会いに

あるカップ麺に入っていた『和山椒』の薬味がとても印象的で、味を引き立ててくれるおいしさに惹かれました。今回は収穫時期ではなかったのですが、『どんな場所で育っているんだろう』と気になって、実際に訪れてみました。和歌山県は、大阪に住んでいるとみかんの産地としてよく知られていますし、天気予報などでも目にする機会が多いので、自然と身近に感じていたのだと思います。そんなこともあって、今回足を運ぶきっかけになったのかもしれません。実際に街なかのお食事処で食べたご飯は、お米もお魚もとてもおいしくて、和歌山の食の魅力をしっかり感じました。大阪から1時間ほどで来られる距離でもありますし、和歌山県の食材がもっとPRされれば、また来たいと思います。

地域：大阪 | 人数：1名 40歳代男性 | 滞在：日帰り
場所：和歌山城